

苫小牧市多文化共生指針関連取組対応表

目指す姿 あなたと創る あなたとかがやく～苫小牧市は世界とつながる多文化共生のまち～

目標	基本方針	施策	ロードマップ	令和7年度までの実施内容	継続・新規	
I (地域) ともに暮らす ～住み続けたい地域づくり～	1 地域における多文化包摂力の向上	1-1 やさしい日本語の普及	これまでの開催してきたやさしい日本語講座を、庁内や地域全体を対象として無償で拡充するなど、多くの市民がやさしい日本語に触れ、学ぶことができる機会を増やします。	実施	ボランティアスクールほか市内のボランティア育成関連事業における「やさしい日本語」講座の実施	継続
		1-2 ノウハウの共有	庁内や地域における、様々な場面での対応の好事例を公開したり、対応研修を実施するなど、普段の生活や仕事で役立つ具体的な行動の共有に取り組みます。	検討・実施	市職員向けの多文化共生研修の実施 「未来創造こども会議」における多文化共生リーダーの育成 新採用職員研修における多文化共生をテーマとした講義の実施	継続 新規 継続
		2-1 手続きの簡略化	公共施設などの利用手続きを分かりやすく説明表示したり、手続きの手順を削減するなど、誰もが利用しやすいよう、難解な手続きの見直しと効率化を目指します。	検討・実施	小中学校における翻訳機の導入	継続
	2 生活基盤を支える取組の強化	2-2 文書のやさしい日本語化	基礎的な行政手続きなどに関する情報のやさしい日本語化や、国などが発行する多言語案内を活用するなど、対応者・利用者ともに負担を削減する取組を進めます。	実施	市ホームページへの「やさしい日本語」切り替え機能導入の検討	新規
		2-3 窓口や表示の多言語化	ICTを利用した案内表示の多言語化や、窓口における多言語通訳機器の設置など、デジタル技術の活用を通して多言語対応の利便性を高めます。	検討	総合案内における翻訳機の設置	継続
					各種手続き時における翻訳機の活用	継続
	小中学校における翻訳機の導入				継続	
	バスの乗り方動画の多言語による配信				継続	
	外国人相談窓口における通訳端末の活用	継続				
	3 安心・安全な暮らしの推進	3-1 防災や防犯の啓発	緊急時における情報発信源の一元化や伝達網の整備、防災や防犯に関する既存の取組の多言語化など、平時と有事のいずれにも対応可能な啓発活動に取り組みます。	検討・実施	避難所体験等における外国人への参加促進（周知）	新規
					外国人向けの災害情報の発信	継続
					防災イベント「備えるフェスタ」への外国人ブースの出展	継続
3-2 社会保障サービスの向上		保育施設や医療機関などにおける、多言語通訳機器の導入率向上など、個人の生活に直結する多様なニーズが正確に伝達され、対応されることを目指します。	検討・実施	病院等医療現場における翻訳機の設置	継続	
3-3 住環境に関する理解の促進		生活オリエンテーションの実施や、住み方の手引きの作成など、既存の取組を発展させながら、住まいの提供者・利用者・同居者ともに安心して暮らせる環境をつくります。	検討・実施	外国人入居希望者にも配慮した市営住宅の受入れ対応	継続	
	留学生向けのごみ分別の出前講座の実施 LINE「苫小牧ごみナビ」の導入及び多言語対応 多言語生活情報誌「みんなの生活ガイドブック」の配布			継続 新規 継続		

目標	基本方針		施策		ロードマップ	令和7年度までの実施内容	継続・新規	
II (個人) ともに育む ～主体性を持ち、活躍できる人 材育成～	4	習熟度に応じた相互交流の促進	4-1	学習型日本語教育の拡充	日本語教育に関する専門性の高い有償ボランティアの育成や、外部専門事業者との連携の検討など、利用者のニーズに即したより質の高い日本語教育の提供を進めます。	実施	学習型日本語教室の実施	継続
			4-2	交流型日本語支援の充実	登録されている国際交流ボランティアの活用や、外国人市民が主体の交流型日本語教室の実施など、多様な市民の交流を通じた有機的な日本語学習の場を提供します。	検討・実施	地域日本語ボランティア育成のための講座実施	新規
			5-1	ICTを活用した学習機会の提供	日本語教室のオンラインやオンデマンド配信の実施など、ICTを利用して、時間や場所を問わずニーズに応じた日本語が学習できる環境をつくります。	検討・実施	交流型日本語教室の実施	継続
			5-2	自主学習環境の創出	企業や教育現場などにおける、外国人・日本人市民の共同作業による実践的学習教材の作成など、自宅以外で日常生活に根差した日本語が身に付く取組を進めます。	検討・実施	地域日本語ボランティア育成のための講座実施	新規
	5	ユビキタスな日本語学習環境の整備	5-1	ICTを活用した学習機会の提供	日本語教室のオンラインやオンデマンド配信の実施など、ICTを利用して、時間や場所を問わずニーズに応じた日本語が学習できる環境をつくります。	検討・実施	オンライン学習ツールの周知	継続
			5-2	自主学習環境の創出	企業や教育現場などにおける、外国人・日本人市民の共同作業による実践的学習教材の作成など、自宅以外で日常生活に根差した日本語が身に付く取組を進めます。	検討・実施	「外国人材受入企業支援事業」による外国人雇用企業向け補助金交付	継続
	6	余暇活動の充実	6-1	地域行事やイベントの活性化	行事やイベントなどの情報が集約されたオンラインコミュニティの開設や、足を運びやすくするためのサポートシステムの検討など、全市民が参加しやすい環境づくりを目指します。	R7検討 R8～実施	国際交流サロン公式LINEによる外国人向けの情報発信	継続
					スポーツイベントなどでの国際交流ブースの出展や、多国籍な料理教室の開催など、既存のイベントや取組と国際交流を掛け合わせたレクリエーション活動の充	検討・実施	国際交流ボランティア説明会の実施	新規
			6-2	掛け合わせの取組の創出	スポーツイベントなどでの国際交流ブースの出展や、多国籍な料理教室の開催など、既存のイベントや取組と国際交流を掛け合わせたレクリエーション活動の充	検討・実施	国際交流関係イベントによるボランティアの活用	継続
			町内会行事への外国人の参加	新規				
	スポーツイベントへの外国人参加促進（周知）	継続						
	スポーツと国際交流の掛け合わせイベント「スケート体験&100人BBQ」の実施	新規						
防災イベント「備えるフェスタ」への外国人ブースの出展	継続							

目標	基本方針	施策		ロードマップ	令和7年度までの実施内容	継続・新規		
III (企業) ともに働く ～人とまちが成長する産業拠点 都市～	7 産学官協働の向上	7-1	産学の取組に対する支援の整備	企業の日本語支援に対する補助金や、教育現場での外国人市民による就労発表会の開催など、産学における国際交流を深める取組を推進します。	検討・実施	「外国人材受入企業支援事業」による外国人雇用企業向け補助金交付	継続	
		7-2	地域の在留支援関連機関との連携拡大	市内の企業を中心に、産官に対する在留資格説明会の定期開催や、産業別外国人就労者割合の定点観測など、在留支援機関との連携によるファクトベースな情報提供を強化します。	実施	「外国人材採用勉強会」の実施 「外国人材受入促進セミナー」の実施（キャリアバンク・胆振総合振興局との連携）	新規 新規	
		8-1	企業間ネットワーキングの強化	外国人雇用の進んでいる企業から、今後雇用を検討する企業へのノウハウ提供など、既存の基盤を活用しながら、企業間で生産的な情報共有がなされる取組を推進します。	検討・実施	「協力確認書」提出の特定技能の外国人所属機関情報の活用	新規	
	8	企業間連携の推進	8-2	リソース共有の仕組みづくり	外国人就労者用の生活物品や、家庭用品のリサイクルなど、各企業に点在するリソースを企業間で有効活用できるような仕組みの構築を目指します。	検討		
	9	幅広い就労支援の提供	9-1	地域の就職支援機関との連携の検討	外国人の就労に関するガイドブックなどの共同作成や、在留支援機関との連携による就労希望者の就労促進など、外国人材の一層の活躍に向けた有機的な連携の体制を検討します。	検討・実施	「外国人材受入促進セミナー」の実施（キャリアバンク・胆振総合振興局との連携）	新規
			9-2	帯同家族への就労のサポート	就労意思のある帯同家族への就労前トレーニングの提供や、企業とのマッチングイベントの開催など、既存の取組を発展させながら、就労機会の拡大を目指します。	実施		

目標	基本方針	施策	ロードマップ	令和7年度までの実施内容	継続・新規		
IV (全体) ともに輝く ～魅力づくりと賑わいづくり～	10 バウンダリーレスな情報発信 の強化	10-1 若年層と協働した情報の発信	教育現場と外国人市民が協働する観光ボランティアスクールの開催など、若年層が様々な文化と触れ合いながら、その魅力などを発信する機会を増やします。	実施	「未来創造こども会議」における多文化に関する提案の実施 こども国際交流事業における多文化共生をテーマとした学び 児童センターにおけるCIRによる講座実施 小学校における「多文化共生クラブ」の検討 学校給食における「多文化共生メニュー」の実施	新規 継続 新規 新規	
		10-2 多国籍主体による情報の発信	外国人市民をパーソナリティやゲストに起用したコミュニティラジオ番組や、情報動画の定期放送など、多文化共生に関する情報発信の間口を広げます。	検討・実施	FMとまこまいにおける外国人パーソナリティによる番組放送 児童センターにおけるCIRによる講座実施 広報とまこまいにおける外国人市民の紹介	継続 新規 継続	
		11 苫小牧の魅力の共有	11-1 苫小牧を学ぶ機会の提供	やさしい日本語による市民講座や市内ツアーの実施、市内での文化体験の提供と拡充など、既存の取組を活用し、多くの市民が本市の特徴を認識できる機会を提供します。	検討・実施	とまこまいナイトフィッシング&クルーズの実施（観光協会と連携）	新規
			11-2 多様な視点からのプロモーション	MICEやスポーツの国際大会、海外合宿の誘致などを念頭に、国籍や文化的背景の異なる様々な視点から本市の強みを洗い出し、重層的なプロモーションに繋がります。	実施	MICEホームページの多言語化	継続
	12 持続的な推進体制の確立	12-1 コーディネート人材の確保と育成	庁内での留学生インターンの採用や、教育・医療現場などにおけるCIRの活用など、多文化共生に関する取組をスムーズに実施するためのコーディネート人材の拡充を図ります。	検討・実施	国際交流ボランティア説明会の実施	新規	
					市職員向けの多文化共生研修の実施 新採用職員新採用職員研修における多文化共生をテーマとした講義の実施 地域日本語ボランティア育成のための講座実施 「未来創造こども会議」における多文化共生リーダーの育成 小学校における「多文化共生クラブ」の検討	継続 継続 新規 新規 新規	
		12-2 広域連携と協力体制の構築	国や北海道、道内の自治体や、関連機関などとの定期的な情報共有や、近隣自治体と連携した取組の展開など、多文化共生施策の推進に資する広域的な協力体制の構築を進めます。	実施	近隣自治体からの視察対応及び情報交換	継続	
					出入国在留管理局との懇談会の実施 JICA北海道との連携及び情報交換	新規 新規	